アドビ株式会社
141-0032　品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー

アドビ、AI エージェントと新機能を通じて、場所や方法を問わず創作できるクリエイティビティの新時代を開拓

- アドビは、クリエイターや企業が信頼を寄せる制作ツールにエージェント型ワークフローを導入：アドビのクリエイティブエージェントを Adobe Creative Cloud および Adobe Firefly に拡大するほか、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe Premiere、Adobe After Effects 向けのローカル MCP 連携を発表。さらに Adobe CX Enterprise Coworker を Adobe GenStudio に統合
- クリエイティブ AI スタジオである Adobe Firefly は、動画、音声、画像、デザイン向けのアドビの最先端クリエイティブツールと、業界トップクラスの AI モデル、そしてアドビのクリエイティブエージェントを 1 か所に集約し、新しい働き方を提案
- アドビは、Anthropic や OpenAI とのコネクタ、および、Google や Microsoft とのパートナーシップの拡大を通じて、クリエイターが信頼する制作ツール群へアクセスする場所や方法を拡大し、より多くのユーザーにアドビのツールを提供

※当資料は、2026 年 11 月 10 日（米国時間）に米国本社から発表されたプレスリリースの抄訳版です。

【2026 年 11 月 11 日】
アドビ（Nasdaq: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、世界最大級のクリエイティビティカンファレンス Adobe MAX において、Adobe Firefly、Adobe Creative Cloud、および、Adobe GenStudio に新たに導入する AI エージェントならびに新機能を発表しました。これらは、クリエイターやクリエイティブプロフェッショナル、マーケターが、場所や方法を問わず制作できる環境を提供します。

アドビは、クリエイティブプロフェッショナルが自身の言葉で指示を出すことでパートナーとして動作するアドビのクリエイティブエージェントの提供範囲を、Adobe Creative Cloud および

Adobe Firefly 全体に拡大します。これにより、クリエイティブプロフェッショナルは複雑で多段階にわたるタスクを AI エージェントに委任し、自身は作品をより際立たせるために独自の感性やスタイル、ビジョンを取り入れることに注力することが可能になります。また、アドビはローカル MCP 連携のプレビューを公開しました。これにより、クリエイティブプロフェッショナルは普段から使用しているサードパーティ製エージェントに指示することで、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe Premiere、Adobe After Effects 内のネイティブプロジェクトファイルに対してローカルで変更を加えられるようになります。また、企業向けには、Adobe CX Enterprise Coworker を Adobe GenStudio に導入し、マーケティングチームやクリエイティブチームが AI エージェントを活用してキャンペーンを加速させ、ブランドに沿ったコンテンツを大規模に展開できるよう支援します。

アドビのクリエイティブ AI スタジオである Adobe Firefly では、新しい制作アプローチを提案します。動画、音声、画像、デザイン向けの強力な新たなクリエイティブツール、業界トップクラスの AI モデル、そしてアドビのクリエイティブエージェントを 1 か所に集約することで、あらゆる経験値のクリエイターが、アイデアから完成作品までを迅速かつ容易に実現できるようになります。今回アドビは、Adobe Creative Cloud 全体にわたって新しいツール、AI エージェント、パフォーマンスの向上を提供しています。これには、Adobe Photoshop の「リライト」や Adobe Premiere の「カラーモード」などが含まれ、プロのクリエイターが必要とし、期待する精度とコントロールを保ちながら、より迅速に作業できるよう支援します。

さらにアドビは、Anthropic や OpenAI との協業や、Google や Microsoft とのより深いパートナーシップを通じて、ユーザーが信頼を寄せるアドビツールにアクセスできる場所と方法を拡大し続けています。Google との提携では、アドビのクリエイティブおよび生産性向上ツールをより多くの Google 製品や体験に組み込み、Google の最先端 AI モデルをアドビのツールに追加するとともに、Google DeepMind と連携して Adobe Photoshop 向けの AI を活用した新しい編集機能を模索しています。Microsoft との提携では、高性能な ARM ベースの Windows PC 向けに最適化された Adobe Photoshop、Adobe Premiere、Adobe After Effects、Adobe Substance 3D Painter（ベータ版）を提供するとともに、Windows 版の Microsoft Photos から迅速かつ簡単にデザイン作成できる Adobe Express にアクセスできるようにしています。

アドビの社長兼次期最高経営責任者（CEO）であるアニール チャクラヴァーシー（Anil Chakravarthy）は、次のように述べています。「私たちは、あらゆる経験値のクリエイターやクリエイティブプロフェッショナルが、製作の主導権を維持しながら、野心的なアイデアを具現化す

るために必要なツール、AI モデル、AI エージェントを利用する、クリエイティビティの新時代を切り拓いています。あらゆるフォーマットやチャネルにおいてコンテンツへの需要が高まる現在、アドビは製品ポートフォリオ全体にわたって新たなイノベーションを提供し、クリエイティブワークのあり方を拡張するとともに、さらに多くのクリエイターが私たちのツールの力を活用できるようにしています。」

アドビの最先端ツール、業界トップクラスのモデル、そしてアドビのクリエイティブエージェントを結集させたクリエイティブ AI スタジオである Adobe Firefly

クリエイターは、アイデアを具現化するために複数のアプリや AI モデル、サブスクサービスを利用しており、あるクリエイティブプロジェクトから次のプロジェクトへとシームレスに移行することは容易ではありません。Adobe Firefly は、アドビのプロ仕様のクリエイティブツールと、アドビ、Topaz Labs、および ByteDance、Google、Kling、OpenAI、ElevenLabs などのパートナーが提供する業界トップクラスの AI モデル、さらにクリエイターのパートナーとして働くアドビのクリエイティブエージェントを統合したクリエイティブ AI スタジオへと進化しています。動画や音声から画像やデザインにいたるまで、Adobe Firefly はクリエイターがプロジェクトを最初のアイデアから完成作品へと仕上げるために必要なすべてを提供します。

Adobe Firefly の主な新機能は以下の通りです：

- **アドビのクリエイティブエージェント：**クリエイターのパートナーとして動作する基盤機能です。Firefly AI アシスタント（ベータ版）を駆動し、新たなカスタマイズ機能、プランモード、モデルセレクター機能を備えています。これにより、クリエイターは創作の主導権は維持したまま、AI エージェントに作業を委任し、自身は独自の感性やスタイル、ビジョンを形にすることに注力できます。
- **Always-on agents**（プレビュー）：クリエイティブワークフロー内で発生する定型作業向けの AI エージェントです。共有されたアセットの整理から品質チェック、さまざまなチャネル向けのコンテンツの準備など、クリエイターが直接見ていなくてもバックグラウンドで作業します。
- Adobe Firefly 動画：ストーリーを構築し、動画を組み立てるための単一のワークフローを一貫して行うことができます。SNS コンテンツから短編映画にいたるまで、アイデアや既存のアセットを洗練された動画に変えるために必要なすべてを提供する新機能が拡充されています。
- Adobe Firefly デザイン（**ベータ版**）：イラスト、画像編集、アニメーション、3D、印刷用のツールを 1 つのキャンバスに統合した新しいデザイン編集スペースです。クリエイタ

ーは、ブランドアイデンティティや SNS キャンペーンを、最初のアイデアから最終レビューまで一貫して進めることができます。

- Adobe Firefly 画像： 「オブジェクトを編集」、「リライト」、「レタッチ」などの新しい精密な編集機能により、画像の一部のみを変更して、その他の部分は維持できます。プロンプトベースと手動による編集を組み合わせて行うことができます。
- **クイックアクション**：「オブジェクトを削除」や「サムネイルを生成」といったワンステップの修正から、「商品広告の作成」のようなガイド付きワークフローまで、すぐに使える新しいアクションがギャラリーに追加されました。
- Adobe Firefly グラフ**（ベータ版）**：クリエイターが、カスタマイズでき、繰り返し利用可能なワークフローを構築・改良できるようにすることで、クリエイティブ作業をスケールアップできるよう支援する新しいツールです。
- Adobe Firefly ビルダー**（プライベートベータ版）**：クリエイターが、コードを書かずに自然言語を用いて、アイデアを web サイト、プレゼンテーション、アプリなどのインタラクティブでブランドに沿ったプロトタイプに変換できるよう支援する新しいツールです。

Adobe Creative Cloud の主力ツールにエージェントと新機能が追加され、プロフェッショナルにさらなる精度、コントロール、選択肢を提供

クリエイティブプロフェッショナルは、プロに求められる精度、品質、コントロールを維持しつつ、より多くの制作物をより迅速に、より多くのメディアに向けて提供するという需要に応えなければいけません。アドビは、Adobe Creative Cloud 全体にわたり、AI エージェント、パワフルな編集ツール、そしてパフォーマンス強化を組み合わせた新機能を導入し、クリエイティブプロフェッショナルがワークフローの加速とスキルアップを実現する支援をします。

Adobe Creative Cloud の新機能の一部を紹介します。

- **アドビのクリエイティブエージェント：**Adobe Illustrator、Adobe Premiere、Adobe InDesign、Adobe After Effects、Frame.io へと提供範囲が拡大した AI アシスタント（ベータ版）を駆動し、クリエイティブプロフェッショナルの指示に従い、複雑で多段階のタスクを指示・実行します。これにより、クリエイティブプロフェッショナルはコントロールを維持しつつ、より多くの作業を迅速にこなせるようになります。
- **ローカル MCP 連携（プレビュー）：**クリエイティブプロフェッショナルが選択したサードパーティ製エージェントに指示を出し、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe Premiere、Adobe After Effects のネイティブプロジェクトファイルに対してローカルで変

更を加えられるようにする統合機能です。変更後もレイヤー、シーケンス、コンポジションは引き続き編集可能な状態を維持します。

- **新機能とパフォーマンス強化：**主力製品全体にわたる革新的な新機能には、Adobe Photoshop の「生成リスタイル」や「リライト」、Adobe Premiere の全く新しいカラーグレーディングシステムである「カラーモード」、Adobe Lightroom の「目をひらく（ベータ版）」、Adobe InDesign の「共同編集（ベータ版）」などがあります。これらの新機能により、クリエイティブプロフェッショナルはコアとなるワークフローを高速化し、より多くの創作に取り組めます。
- **Topaz Labs のモデル：**新しい画像補正モデル「Wonder 4」と「Image HDR」は、アップスケーリング、ノイズ除去、ブレ補正、シャープにする調整機能を提供し、より豊かなディテールの画像へと変換できます。

Adobe GenStudio に、マーケターのキャンペーン推進を支援する AI エージェントを導入

マーケティングチームやクリエイティブチームは、ブランドの整合性を維持しつつ、さまざまなオーディエンス、チャネル、市場向けに、より多くのコンテンツを制作する必要があります。アドビは、エンドツーエンドのコンテンツサプライチェーンソリューションである Adobe GenStudio に Adobe CX Enterprise Coworker を導入し、チームが対話型インターフェイスを通じて複雑なキャンペーンワークフローを管理できるよう支援します。

主な新機能は以下の通りです。

- **キャンペーン全体をカバーするエージェント型パートナー：**Adobe GenStudio 内の対話型インターフェイスを通じて、クリエイターやマーケターはキャンペーンの企画、制作、施策の実行を指揮でき、Adobe CX Enterprise Coworker が複数の AI エージェントとワークフローを調整します。
- **ブランドガイドラインの自動準拠：**ブランドガイドラインを継続的に学習・適用する AI エージェントである Adobe Brand Intelligence の機能強化の一環として「Intelligent Reflow」を導入しました。これにより、チームはブランドに沿ったデザインを新しいサイズやレイアウトに自動的に適応させることができます。また、この機能は Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe InDesign にも導入され、クリエイターがすでに使用しているツール内でもブランドガイドラインが適用された制作が可能になります。
- **AI を活用したアイデア創出と計画：**「Ideation Space」は、アドビの計画・プロジェクト管理ソリューション Adobe Workfront に新たに搭載された、AI を活用したコラボレーション用キャンバスです。このツールは、クリエイターやマーケターからのアイデアを、CX

Enterprise Coworker が収集したパフォーマンスデータやその他のコンテキストと組み合わせ、戦略を体系的なキャンペーンブリーフへと落とし込むのを支援します。

- **ガバナンスに基づく制作ワークフロー**：製品の高精細なデジタルレプリカを作成する Adobe Firefly の 3D デジタルツインワークフローにより、チームや AI エージェントは、細部が変更されるたびに物理的な写真撮影を行う必要なく、製品のラベルや素材を変更し、製品画像を生成できるようになります。

パートナーシップの深化により、信頼されるアドビツールへのアクセス場所と方法を拡大

アドビは、プラットフォームやデバイスを問わず、ユーザーが創作や仕事を行う環境にクリエイティブおよび生産性向上ツールを提供し続けています。そしてこの度、Anthropic、OpenAI、Slack などとの協業を介して数々のコネクタを提供してきた取り組みの発展として、アドビは Google および Microsoft とのパートナーシップをさらに深化させ、人々が日常で使うような製品も対象に含めることで、さらに多くのユーザーにツールを提供していきます。

アドビと Google は、戦略的パートナーシップを拡大することを発表しました。これにより、アドビのクリエイティブおよび生産性向上のツールが Google の製品に組み込まれ、Google の最先端 AI モデルがアドビのツールに統合されることで、ユーザーがアイデアをより迅速に具現化し、高品質なコンテンツを作成できるようになります。Adobe Acrobat は Google Workspace で利用可能となり、ユーザーは Google Drive や Gmail から、業界をリードするアドビの PDF ソリューションへ直接アクセスできるようになります。さらにアドビは、Adobe Acrobat やその他のクリエイティブツールを Gemini および Gemini Enterprise とも連携させ、ユーザーが Gemini との対話の中で画像の補正、デザインのカスタマイズ、PDF の編集を行えるようにします。また、アドビは Google 検索の「AI モード」にもクリエイティブツールを導入します。アドビのユーザーは、Adobe Firefly、Adobe Photoshop、Adobe Express、Adobe Premiere において引き続き Google の最新画像・動画モデルを利用でき、Adobe Acrobat の AI アシスタントは、Gemini モデルにより、機能を強化します。アドビと Google DeepMind は、Adobe Photoshop 向けの AI を活用した新しい編集機能について共同で検討を進めます。

アドビと Microsoft は、Adobe Photoshop、Adobe Premiere、Adobe After Effects、Adobe Substance 3D Painter（ベータ版）を含むアドビの主力クリエイティブツールの最適化版を、RTX Spark を搭載した新しい Surface Laptop Ultra をはじめとする高性能な ARM ベースの Windows PC に提供する、戦略的提携関係の拡大を発表しました。さらに、迅速かつ容易にデザイン作成を可能にする Adobe Express が Microsoft Photos にネイティブに統合され、Windows ユーザーは Adobe

Express の機能をすぐに利用できるようになります。

また、アドビはウォルト・ディズニー・カンパニーとの複数年にわたる戦略的提携を発表し、公式 AI イノベーションパートナーとなりました。アドビのテクノロジーは、ディズニーのイノベーションラボにおけるコンセプトの模索や、テーマパークおよびクルーズ船の開発パイプラインを支援します。カスタム AI モデルやツールを活用することで、クリエイターとその作品を権利的に保護しつつ、チームがアイデアをより迅速に開発できるよう支援します。

■「アドビ」について

アドビは創造性、生産性、そしてパーソナライズされた顧客体験を実現する革新的なプラットフォームとツールを提供し、 -Empowering everyone to create- すべての人が創造力を発揮できるよう支援してまいります。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト（https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html）をご覧ください。

© 2026 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.